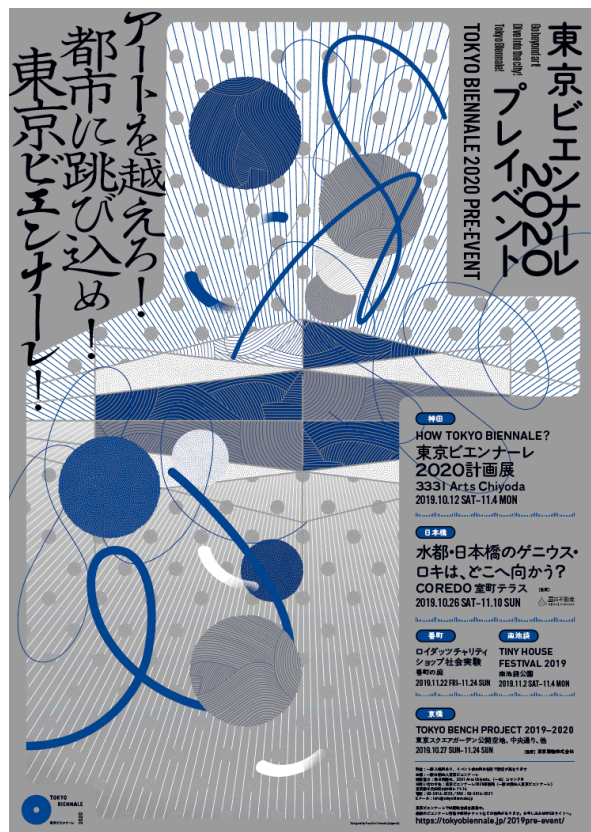


「東京ビエンナーレ 2020 プレイベント」 開催のご案内



デザイン：山田和寛

2020 年、東京北東部一帯を舞台に〈東京ビエンナーレ〉を開催いたします。本展に先立ち、本年 10 月より 2 ヶ月間、「東京ビエンナーレ 2020」の全貌を展示する「東京 2020 ビエンナーレプレイベント」を都内各地で開催いたします。

神田、日本橋、京橋、番町、池袋を舞台に、アーティストによる展示だけではなく、シンポジウムやトークセッション、ワークショップなど、多彩なイベントも実施することで、来場者が自由に作品に接し、街との関わりを感じ取り、作家たちと共に未来の東京について対話したり、体験することのできる、いままでにない祝祭「東京ビエンナーレ」の計画段階をお伝えいたします。

ぜひ「東京ビエンナーレ 2020 プレイベント」を貴媒体にてご掲載、ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

■「東京ビエンナーレ 2020 プレイベント」概要

タイトル：東京ビエンナーレ 2020 プレイベント

会 期：2019 年 10 月 12 日（土）～11 月 24 日（日）

会 場：アーツ千代田 3331 1 階メインギャラリー（東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14）
COREDO 室町テラス 3 階三井ホール&カンファレンス（東京都中央区日本橋室町 3 丁目 2-1）
南池袋公園（東京都豊島区南池袋 2 丁目 22-1）、番町の庭（東京都千代田区四番町 5-9）
東京スクエアガーデン公開空地（東京都中央区京橋三丁目 1-1）、中央通り（住所）他

料 金：会場、イベントによって異なります

主 催：一般社団法人東京ビエンナーレ

協 力：アーツ千代田 3331、一般社団法人非営利芸術活動団体コマンド N 他

総合ディレクター：中村政人（アーティスト）、小池一子（クリエイティブディレクター）

プロジェクトプロデューサー：中西忍（建築家、日本科学未来館副館長）

※「東京ビエンナーレ 2020 プレイベント」は、複数箇所で開催されるイベントの総称です。

東京ビエンナーレ 2020 総合ディレクター中村政人ステイメント

アートを越えろ！都市に飛び込め！東京ビエンナーレ！

何を恐れているのか？何をこだわっているのか？

終わりのない変化には、容赦がない。今しか越える時はない。絶えず変わり、何度でも越えるしかない。

記憶を越えろ、歴史を越えろ、政治を越えろ、学校を越えろ、規制を越えろ、デザインを越えろ、建築を越えろ、ダンスを越えろ、ファッションを越えろ、ゲームを越えろ、メディアを越えろ、自分を越えろ、アートを越えろ！

そして、先の見えない時代に何が待ち受けていようと、自分事として飛び込め。

好き嫌いを言っている場合ではない。飛び込む事は、同時に寛容になるという事。

見る前に飛び、全てを受けとめる覚悟をもて。

優しさに飛び込め、楽しさに飛び込め、未来に飛び込め、教育に飛び込め、町会に飛び込め、企業に飛び込め、他者に飛び込め、権力に飛び込め、真実に飛び込め、スキマに飛び込め、大衆に飛び込め、都市に飛び込め！

東京の社会的生態系が自ら変わるためには、今までの世界観をそれぞれの領域で越えるしかない。

見えなかった新しい領域に飛び込むしかない。都市開発の名の下に、歴史や文化を切り捨ててはならない。

江戸期から培ってきたソーシャルキャピタルを基盤に、文化をつくり蓄積する社会へ

シフトチェンジしなくてはならない。

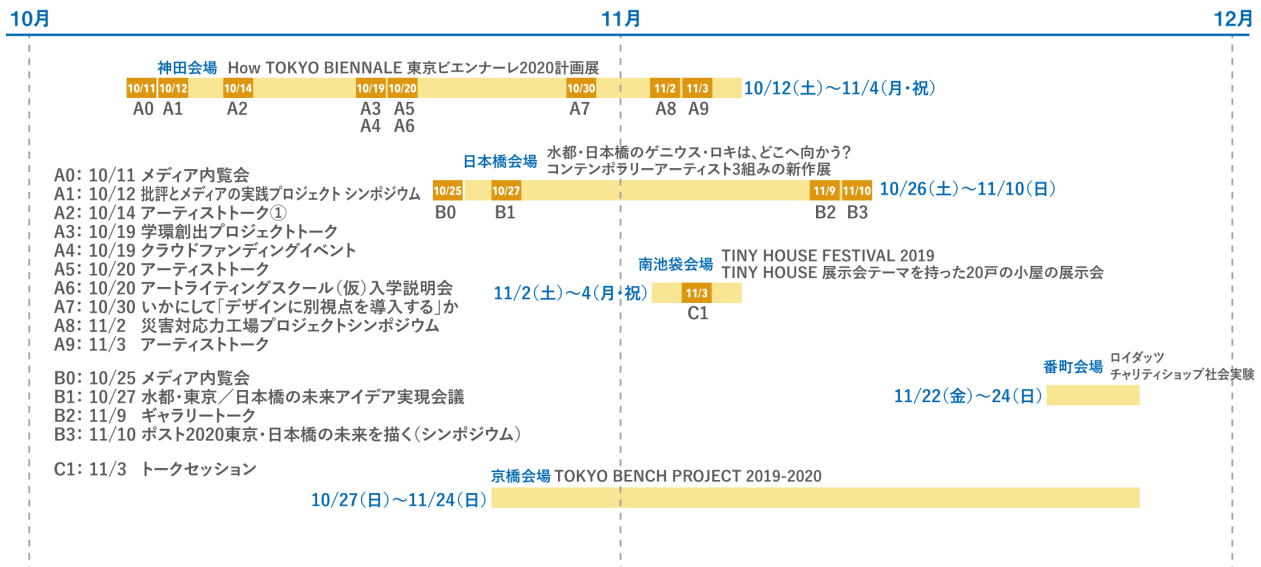
「東京ビエンナーレ」は、そのための新しい文化のフレームを生み出すために東京を開拓する。

狭い個人主義である「私」を越えろ！そして未知なる「私たち」に飛び込め！

東京ビエンナーレ 2020 プレイバント 見どころ

1. 神田・日本橋を中心に都内5か所で開催。展示、シンポジウム、ワークショップなどのほか、ライティングスクールプロジェクトや批評プロジェクトなど、活発な議論の場を多数用意しています。
2. 神田会場（アーツ千代田 3331）では、「東京ビエンナーレ 2020 計画展」を実施。参加アーティストやキュレーターによるプロジェクトプランを発表します。「東京ビエンナーレ 2020」の特徴であり魅力の一つでもある個性溢れる会場も発表します。
3. 日本橋会場（COEDO 室町テラス）では、太古から地域に根付き蓄積された東京の基層文化展示と、スプツニ子！＋西澤知美、やんツー、鈴木康広の3組による新作を展示いたします。
4. 南池袋会場では竹内昌義（建築家／みかんぐみ）、中田理恵（省エネ建築診断士／HandiHouse project）を中心に持続可能な社会の在り方を提案し、都市の中のコミュニティを問いける展示を行います。
5. 番町会場では山崎亮（コミュニティデザイナー／studio-L）率いる studio-L が海外の事例を元にしたチャリティショップを出展させ、実験的運用を行います。
6. 京橋会場ではグランドレベル（田中元子＋大西正紀）が数十台のベンチと通常の2倍サイズのベンチを設置。東京の街並の風景を変容させます。

東京ビエンナーレ 2020 プレイベン会期中スケジュール



■ 各会場詳細、プロジェクト詳細

神田会場

会 期	: 2019 年 10 月 12 日(土)~11 月 4 日(月・祝)
会 場	: アーツ千代田 3331 1 階メインギャラリー
開 場	: 11:00~19:00(入場は 30 分前まで)
入 場 料	: 一般 500 円、高校生以下無料 (入場料は東京ビエンナーレ 2020 実施の支援金として 活用させていただきます)
主 催	: 一般社団法人東京ビエンナーレ
特 別 協 力	: 3331 Arts Chiyoda
Web サイト	: https://tokyobiennale.jp/2019pre-event/

2020 年、東京都心北東部の千代田区、中央区、文京区、台東区を中心エリアに開催予定の「東京ビエンナーレ 2020」。本展はその計画の全貌を紹介する展覧会。現代美術、デザイン、建築、批評等、多彩なジャンルの参加作家によるプラン、および公募プロジェクト「ソーシャルダイブ」等の企画を展示すると同時に、ギャラリーコーナーでは参加作家の作品やドローイングを販売し、東京ビエンナーレ 2020 のプロジェクト資金に活用させて頂く試みも行います。

○ 東京ビエンナーレ 2020 計画展 参加者一覧

池田晶紀(写真家)	中村政人(アーティスト)
伊藤ガビン(編集者)	西尾美也(美術家)
宇川直宏(現在美術家、映像作家)	西原珉(キュレーター)
グランドレベル(田中元子+大西正紀)	西村雄輔(現代美術家)
栗原良彰(アーティスト)	畠山直哉(写真家)
黒田征太郎(画家、イラストレーター) * 1	藤浩志(美術家)
commandN	宮永愛子(美術家) * 1
佐藤直樹(アートディレクター、デザイナー)	川村亘平斎+宮本武典
鈴木康広(アーティスト)	村山修二郎(美術家)
高山明(演出家、アーティスト)	柳井信乃(アーティスト) * 1
竹内昌義(建築家)	山縣良和(ファッションデザイナー)
立花文穂(アーティスト)	山崎亮(コミュニティデザイナー)
椿昇(現代美術家)	リー智子(ちむくい代表)
津村耕佑(ファッションデザイナー)	李美那(キュレーター)
遠山正道(株式会社スマイルズ)	* 1 小池一子キュレーション参加作家
	以上全 29 組

○ 東京ビエンナーレ 2020 計画展 開催イベント

※会場は全てアーツ千代田 3331

シンポジウム

批評とメディアの実践プロジェクト

10月12日(土)

登壇者: 毛利嘉孝(東京芸術大学教授)、鴻野わか菜(早稲田大学教授)、南後由和(明治大学准教授)、Michelle Lim(シンガポール南洋理工大学准教授)

批評とメディアの実践プロジェクト[RELATIONS]は、今、アートに何ができるのか。アートとほかの領域——都市や生活、コミュニティ、医療、福祉、そして科学に至るまでの関係はどのようになっているのか。そしてアートの未来はどのように変化するかを探る批評とメディアの実践型プロジェクトです。発刊予定であるWeb Journal 準備号「アートと都市」に関連して、公開シンポジウムを実施します。

災害対応力向上プロジェクト

11月2日(土)17:00-18:30

登壇者: 西田司(建築家、オンデザインパートナーズ代表)ほか
地域住民と専門家達で災害時に地元から外国人までみんなで情報発信できる地図アプリ「RISK MAP」、市民活動を支援する機能をもったストリートファニチャー「RESILIENCE KIOSK」を開発。事業を通して災害対応力の高いコミュニティ形成を目指す災害対応力向上プロジェクトの全容を明らかにするシンポジウムを開催します。

トークセッション

アーティストトーク

①10月14日(月・祝) 15:00-17:00

②10月20日(日) 15:00-17:00

③11月3日(日) 15:00-17:00

参加アーティストおよびディレクターによるギャラリートークを開催します。

学環創出プロジェクトトーク

10月19日(土)17:30-19:00

登壇者: 伊藤達矢(東京芸術大学特任准教授)ほか
東京ビエンナーレを教材として、大学間の垣根を超えた学生のネットワークを構築し、実践型の共創的教育プログラムを展開。東京ビエンナーレで活躍する学生の育成を行います。

いかにして「デザインに別視点を導入する」か

10月30日(水)19:00-20:30

登壇者: 佐藤直樹(東京ビエンナーレ 2020 クリエイティブディレクター)
大原大次郎(グラフィックデザイナー)
田中義久(グラフィックデザイナー、美術家)
原田裕馬(デザイナー)

プレゼンテーション

10月19日(土) 13:00-15:00

クラウドファンディングイベント

進行: 中西忍(日本科学未来館副館長、東京ビエンナーレ 2020 プロジェクトプロデューサー)
クラウドファンディングを立ち上げた「ロイダッツチャリティショップ」、「災害対応力向上プロジェクト」、「批評とメディアの実践プロジェクト」がそれぞれプレゼンテーションを行います。

10月20日(日) 18:00-20:00

アートライティングスクール(仮)入学説明会 —「文字の学校」ははじめます—

登壇者: 福住廉(美術批評家)ほか
批評/編集/広報に通底する文字系の職人を育成するプロジェクト。少人数制のスクールを開校し、理論と実践の両面から書く技術を磨き上げ、独自のメディアをとおして「東京ビエンナーレ 2020」にまつわる文字を発信していきます。プレイベントではアートライティングスクール(仮)の入学説明会を行います。

日本橋会場

未来の社会への問題を提起する

水都・日本橋の
ゲニウス・ロキは、
どこへ向かう？
コンテンポラリー
アーティスト3組の新作展

会 期: 2019年10月26日(土) - 11月10日(日) 会期中無休
開 場: 12:00-20:00 ※最終日は18:00まで
会 場: COREDO 室町テラス3階 室町三井ホール&カンファレンス
料 金: 無料
主 催: 一般社団法人東京ビエンナーレ
協 賛: 三井不動産株式会社
本企画は「NIHONBASHI MEGURU FES」と連携しています

土地に深く眠る記憶を呼び覚まし、未来の社会への問題を提起する。「水都東京 日本橋の未来」をテーマに、建築史家の陣内秀信による時代考証をもとにした太古から地域に根つき蓄積された東京の基層文化展示とともに、近未来のテクノロジー社会に対し批判的な目を持つ3組の作家(スツニ子! + 西澤知美、やんツー、鈴木康広)による新作を展示します。

参加アーティスト

スツニ子! + 西澤知美

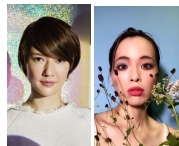


Photo by Mami Arai



〈作品イメージ〉スツニ子! + 西澤知美
東京減点女子医大/Tokyo Medical University
for Rejected Women Photo by Takuya Matsumi

やんツー



〈参考作品〉やんツー + 菅野創
SENSELESS DRAWING BOT #2
Performance

鈴木康広



〈参考作品〉鈴木康広
空気の人
Photo by Masako Nakagawa

水都・日本橋のゲニウス・ロキは、どこへ向かう？コンテンポラリーアーティスト3組の新作展 開催イベント

シンポジウム

ポスト2020 東京・日本橋の未来を描く

11月10日(日)15:00-17:00

会場: 3階ホール

参加料: 一般 1,500円 / 学生 1,000円

登壇者: 箭内道彦(クリエイティブディレクター)、遠山正道(株式会社スマイルズ)、林千晶(株式会社ロフトワーク)

モデレーター: 中村政人(東京ビエンナーレ 2020 総合ディレクター)
クリエイティブの視点、ビジネスの視点、街づくりの視点。さまざまなジャンルの第一線で活躍するクリエイターや専門家によるシンポジウムを開催。
来場者とともに東京・日本橋の未来について語り合います。

トークセッション

水都・東京／日本橋の未来アイデア実現会議

10月27日(日)13:30-17:45

会場: 3階ホール

参加料: 一般 1,000円 / 学生 500円(茶菓代として)

「水都」「日本橋」「東京」などをキーワードに、研究者やクリエイターの想像力でリアルな未来を描くアイデアソン型トークイベント。
提案されるアイデアをもとに多彩な議論を展開し、そこから新しいアイデアを生みだし、東京ビエンナーレでの実現を目指す共創型のイベントです。
[グループセッションA] 岩本唯史(水辺総研代表)、リー智子(ちむくい代表)、加藤文俊(社会学、慶應 SFC 教授)、セキユリヲ(デザイナー)、倉成英俊(電通 B チームリーダー)
モデレーター: 西田司(建築家、オンデザインパートナーズ代表)
[グループセッションB] 石川智士(東海大学教授、総合地球環境学研究所客員教授)、中島伸(都市デザイン、東京都市大学)、田中元子

(グランドレベル)、オンデザインパートナーズ+ミホ・マゼリエウ(MIT Urban RISK Lab ディレクター)、栗栖良依(パラ・クリエイティブプロデューサー、SLOW LABEL)、関治之(Code for Japan 代表理事)
モデレーター: 中西忍(日本科学未来館副館長、東京ビエンナーレ 2020 プロジェクトプロデューサー)

ギャラリートーク

11月9日(土)13:30-14:30

会場: 3階カンファレンスルーム

参加料: 無料

プロジェクションマッピングや錦絵などの展示監修メンバーが解説します。
登壇者: 陣内秀信(法政大学特任教授、法政大学江戸東京研究センター初代センター長)ほか

ワークショップ

わくわく・すいすい「水辺探検」川から見る日本橋の水辺の景色

※実施日時はWEBサイトを参照

会場: 日本橋川

参加料: 無料

水辺からの視点で見慣れた街を再発見します。船に乗って日本橋界隈の川や運河をめぐり、見て、感じてもらうワークショップ。いつもとは違う高さ、スピードを体験すると、日常で見える風景が一変します。

企画・運営協力: 一般社団法人まちふねみらい塾

南池袋会場

小さな家たちによる持続可能な暮らしづくり	会 期	: 2019 年 11 月 2 日(土)、3 日(日)、4 日(月・祝)
TINY HOUSE FESTIVAL 2019	会 場	: 南池袋公園
TINY HOUSE	主 催	: 東京ビエンナーレ 2020 TINY HOUSE PROJECT 組織委員会
展示会テーマを持った 20 戸の	共 催	: 一般社団法人東京ビエンナーレ、 一般社団法人 HEAD 研究会エネルギーTF
小屋の展示会	協 力	: 南池袋公園をよくする会、株式会社エネルギーまちづくり社、 株式会社 HandiHouse project

TINY HOUSE(タイニーハウス)とは、「Tiny(小さな)house(家)」の意。竹内昌義(みかんぐみ)、中田理恵(HandiHouse project)を中心としたチームでは、東京ビエンナーレ 2020 に向けて「小さな家たちによる持続可能な暮らしづくり」をテーマに、エリア各地に小さな小屋を配置します。TINY HOUSE をセルフビルドすることで本当に必要なものは何かを考え、持続可能な社会の在り方を提案します。本展では、20 戸の TINY HOUSE を配し、多彩なデザインや幅広い使い方を展示します。

トークセッション

11 月 3 日(日)10:00-18:00

「小さな家たちによる持続可能な暮らしづくり」をテーマに 3~4 のトークセッションを行います。

番町会場

海外を事例にしたチャリティショップが出現	会 期	: 2019 年 11 月 22 日(金)、23 日(土)、24 日(日)
ロイダッツ	会 場	: 番町の庭
チャリティショップ	料 金	: 無料
社会実験	主 催・運営	: studio-L
	共 催	: 一般社団法人東京ビエンナーレ
	運 営 協 力	: 番町子ども会

チャリティショップとは、チャリティ団体が運営する中古品の販売店のこと。リサイクルショップと異なるのは、売り上げが各団体の慈善活動に充てられます。東京ビエンナーレ 2020 の「ロイダッツチャリティショップ」では、山崎亮(コミュニティデザイナー)率いる studio-L が、海外の事例を元に【ロイダッツ】という名称のチャリティショップを出現させます。本展では、千代田区の「番町子ども会」や小学校 PTA などの協力の元、「チャリティショップ」の実験的運営を行います。

京橋会場

ベンチが東京の風景を変える	会 期	: 2019 年 10 月 27 日(日)~11 月 24 日(日)
TOKYO BENCH PROJECT	会 場	: 東京スクエアガーデン公開空地、中央通り、他
2019-2020	料 金	: 無料
	主 催	: 一般社団法人東京ビエンナーレ
	企 画	: グランドレベル(田中元子+大西正紀)
	デザイン監修	: ツバメアーキテクツ
	協 賛	: 東京建物株式会社

「日常のまち、まちの1階に人が居る光景をつくる」をテーマに活動をするグランドレベル(田中元子+大西正紀)。「TOKYO BENCHPROJECT」では、東京ビエンナーレ 2020 の各エリアに“人・まち・アート”を繋ぐベンチを設置し、東京の風景を変えます。本展では、そのキックオフとして、京橋の公開空地に数十台のベンチと通常の2倍サイズのベンチを設置。パブリックスペースにベンチを溢れさせ、日常の中での人々の営みや、人の居るまちの風景を一変させます。

東京ビエンナーレ 2020 とは

東京エンナーレ 2020 は、歴史文化的にも特徴のある東京都心北東エリアの公共スペース、公共施設、学校施設、寺社会堂などを会場として、2020 年より隔年で開催する国際芸術祭です。

文化芸術にとどまらない多方面のジャンルの専門家や地域住民・企業人たちと共に、2020 年とその先の東京の未来を描いていく、完全なる民間主導によるボトムアップ型の芸術祭です。

〈開催概要〉

開催日時: 2020 年 7 月 3 日(金)～9 月 13 日(日) 73 日間(予定)

会場: 千代田区、中央区、文京区、台東区の 4 区にまたがる東京北東エリア

主催: 一般社団法人東京ビエンナーレ

